

【ユニット】 人体の構造と機能 1 - 1

【ユニットディレクター】

UD：栗崎 知浩（解剖学）

【一般的な目標】

ヒトという生物の位置づけと特徴を考えると、運動を成り立たせる骨格の構造を講義と体験を通して学習する。これは卒業後の臨床研修を適切に受けるために必要な知識と態度の基礎となる。

【具体的な目標】

1. 脊椎動物の体制について説明できる。
2. 直立二足歩行に伴うヒトの体制の特殊化について説明できる。
3. 人体構造の階層性について説明できる。
4. 脊椎動物の個体発生と系統発生について説明できる。
5. 筋肉の構造について説明できる。
6. 全身の骨と関節の構造について説明できる。

【学習方法】

講義と実習により行う。

出席要件についてはユニット内の全ての授業は講義・実習の授業形態に関わらず講義扱いとする。

形成的評価として実施する授業内の小テストについては、当該授業(教材)中で解答と解説を提示する。

【評価方法】

人体の構造と機能1 コースの評価方法に従う。

学期末に定期試験を実施する。ユニットの評価は、定期試験の結果のみに基づいて行う。本試験は MCQ 形式 50 点満点、記述式問題 50 点満点で合計 100 点満点とし、合格基準は 65 点とする。この基準に達しない場合は、学年末に当該ユニットの再試験を行う。再試験は本試験と同じ形式とし、合格基準は 65 点である。再試験および追試験は 1 回のみ実施する。

【教科書】

- ◆ 日本人体解剖学 上巻（南山堂）第 20 版
- ◆ 日本人体解剖学 下巻（南山堂）第 20 版

【授業予定表】

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
SF 1-1 1	04月27日	(月)	1	オリエンテーション・総論1 (ヒトの占める位置)	永島 (解剖学)
SF 1-1 2	04月27日	(月)	2	総論2 (ヒトに固有な能力)	永島 (解剖学)
SF 1-1 3	05月18日	(月)	1	総論3 (生命現象の階層構造)	栗崎 (解剖学)
SF 1-1 4	05月18日	(月)	2	総論4 (個体発生と系統発生)	栗崎 (解剖学)
SF 1-1 5	05月25日	(月)	1	運動器1 (骨と筋肉の構造)	栗崎 (解剖学)

	月日	曜日	時限	講義名	担当者
SF 1-1 6	05月25日	(月)	2	運動器2 (関節の構造と動き)	栗崎 (解剖学)
SF 1-1 7	06月01日	(月)	1	運動器3 (上肢の骨と関節1)	藤田 (解剖学)
SF 1-1 8	06月01日	(月)	2	運動器4 (上肢の骨と関節2)	藤田 (解剖学)
SF 1-1 9	06月08日	(月)	1	運動器5 (胸郭・骨盤)	藤田 (解剖学)
SF 1-1 10	06月08日	(月)	2	運動器6 (脊椎と脊髄)	永島 (解剖学)
SF 1-1 11	06月15日	(月)	1	運動器7 (下肢の骨と関節1)	藤田 (解剖学)
SF 1-1 12	06月15日	(月)	2	運動器8 (下肢の骨と関節2)	藤田 (解剖学)
SF 1-1 13	06月22日	(月)	1	運動器9 (脳頭蓋)	藤田 (解剖学)
SF 1-1 14	06月22日	(月)	2	運動器10 (顔面頭蓋)	藤田 (解剖学)
SF 1-1 15	06月30日	(火)	2	骨学実習1	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
SF 1-1 16	06月30日	(火)	3	骨学実習2	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
SF 1-1 17	06月30日	(火)	4	骨学実習3	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)
SF 1-1 18	06月30日	(火)	5	骨学実習4	永島 (解剖学) 藤田 (解剖学) 高野 (解剖学) 栗崎 (解剖学) 青地 (解剖学)